

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センター のぞみ (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25日		2025年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間のチームワークが取れていること。共通理解が出来ていてスタッフの協力が密に取れていること。	こどもが帰った後の日々の連携に加え、毎週クラスの様子を伝えあう時間を設け、職員全員で共通認識を持ち、支援を考えている。 また、家庭での様子、園での様子を全員で把握できるよう情報共有を行っている。	困難事例に直面した時など、早期に解決するため、関係機関と即時ケース会議を開けるような体制を作っておく。また、課題と連携先がすぐに結び付けられるよう様々な専門機関を把握するようなことを職員全体で共有できるよう努める。
2	就学に向けての教育相談や就学先の学校選びなど、様々な機関と連携をとりながら丁寧な取り組みと相談を行っていること。	就学に向けて、学校見学への同行や就学先との連携、教育委員会との話し合いなど保護者の意向を聞き、子どもに合わせた適切な援助を行っている。また、のぞみ独自の就学説明会(学習会)を行い、保護者の疑問に向き合っている。	就学後、子どもたちがどのように学校生活を送っているのを知り、卒園後の発達についても知識と理解を深めることに職員全員で努めていく。そうすることで、子どもにとってよりよい学校選びの支援ができると思う。
3	クラス療育でありながら、職員が一人ひとりと向き合う姿勢と柔軟なプログラムを考案するスキルの向上に努めていること。	ある活動を考案しても、ある子どもはそれに参加できないかもしれないということを事前に想定し、別の活動を準備するなどしている。	多様な参加の仕方のある活動をこれからも職員みんなで考案していくこと、こどもの力を引き出し、伸ばす支援スキルの向上を図るよう努めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	三原市に一つしかない児童発達支援センターとして、中核的な役割を担っているが、もっと三原市の子どもたちや地域の為の支援を行わなければならないと感じている。自立支援協議会(児童支援部会等)事業所間のつながりを深め、また関係機関とのつながりを強くする必要がある。	自立支援協議会において各事業所からの意見を吸い上げ、事業所で困っていることや、三原市全体で考えていかなければならないことを取りまとめ、子どもたちや地域に還元していく力がまだないこと。	三原市の事業所間の関係を密にし、行政とも協力し合い、小さなことからできることを一つずつ形にしていく。また事業所以外の関係機関の参加も呼びかけ、三原市全体の子どもたちの支援が進むように働きかける。
2	地域との交流が十分ではないこと。	地域の中での発達支援の認識はまだ薄く、地域発信があまり出ていない。地域の方に、どんな事業所なのか解っていただく必要がある。	児童福祉事業部門(法人内の児童部門・紅梅認定こども園とこども発達支援センター)で2月にマルシェを開き、「こども発達支援センターのぞみ」の理解をして頂くことと予定している。
3	職員配置は基準を満たしているが、職員はもっと職員数が必要と感じている。また、専門的な職員の数が少ない。職場の環境改善が必要。	発達支援という業務の魅力ややりがいなどの情報発信があまり出ていないこと。	地域への情報発信を積極的に行っていくとともに、業務の質の向上を常に行い、魅力のある仕事であるということを私たち自身がしっかりと実感していくこと。また、学生ボランティアを入れ、地域に発信していくことも検討していきたい。これらを通して新たな職員の入職に繋げていきたい。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 とも発達支援センター のぞみ

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数

40

2025年 12月 19日

回収数 36

回収率 90%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	1	0	2	広々とした環境で過ごしている。遊具が危ないのはわかるが、外遊びでも少しいろいろなもの（遊具を含め）で活動出来たら良い。広々としたイメージで、活動スペースも充分である。活動によって場所がちゃんと考えられている。	基準の広さは確保しておりますのでご安心下さい。活動に於いての危険性は十分に配慮したうえで、遊びの展開をしております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	31	0	0	5	こどもの事をよくみてくれていると感じる。安心して預けられる。適切だと思う。一人一人のこどもとしっかり向き合っていてフォローも出来ている。配置数まではわかりませんが、たくさんの先生が見てくださっていると思います。	職員の配置数は基準より多く配置し、こどもたちへのかかわりが丁寧に行えるようにしております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	2	0	3	実際に一日過ごすとは違うと思いますが、事業所の方々は適切にしてくれている。わかりやすい構造だと思う。視覚優位の我が子にとって絵カード等での指示や情報はすごく助かる。	環境設定はこどもに分かりやすく、見通しが持てるように取り組んでいます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	1	0	1	その都度、空間を変化させてこどもたちに合わせて下さっている。きれいだと思うし、こどもが快適に過ごせそうな空間だと感じた。その日によって使う遊具も考えてあり活動もスムーズに出来ていると思う	日々の活動前の環境整備や活動後の掃除など、毎日清潔に気持ちよく利用していただけるように整えています。また、活動に合わせた空間を提供させていただいております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	1	0	0	のぞみに通園して本当に成長した。感謝している。先生との面談を通して、とてもそう感じている。担任以外の先生とも関わりがあるだろうなどこどもの話を聞いてわかる。子の特性を分かってくれてくれていると思う。個性を大切にしてくれていると思う。親が気付かなかった特性にもすぐ気付いて下さり、しっかりとアプローチしてくれている。とてもよく見て下さりいろいろと考えて下さっている。	職員会議や日々の活動の振り返りで、一人一人の特性を理解し、また支援方法などを共有しています。各職員の得意な分野を理解し合い、チームで支援出来るよう体制をとっています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	2	0	4	強みや弱みを見極めて、支援が受けられていると思う。あまり気にしたことがない。	こどもたちの発達支援を、支援プログラムに挙げて5つの領域から考え、一人ひとりに合った支援計画に基づいて支援を行っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	0	0	0	詳しくて見やすい計画になっていると感じる。	個人面談の時間をとり、個別支援計画の説明を行って理解を得ております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	0	0	2	的確な内容だと思う。	個別支援計画をご説明する時に、一緒に行っています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	1	0	1	いつも感謝している。	本児らしく、毎日元気で楽しく笑顔で過ごしていただけるよう支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	1	0	3	先生方の工夫が感じられる。	四季折々の季節感を大切にプログラムの用意をしています。

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	24	4	1	7	年長のみでしたが一度あった。あまり気にしたことが無い。近くの園のこどもたちと一緒に遊んだり、交流する機会がある。もう少し多くてもいいような気もするけど、色んな子がいるので、ちょうどいいかも?とも思う。	法人内のこども園で交流を行っていません。すぐに打ち解ける子もいますが、恥ずかしがる子もいます。回数を重ねていくと慣れてくると思われます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	0	0	0	分かりやすい説明だった。	利用者負担については改定した時には必ず説明しております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	0	0	0	丁寧に一つ一つ説明してくださり、ありがたかった。	クラスの担任より、時間を設定させていただき丁寧に説明させていただいております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	2	1	5	あまりわかっていないので、もう少しそういう機会があることを教えて欲しい。就学に関する話を聞けたのはとても良かった。	研修会として、就学説明会をおこなわせていただいております。茶話会も行い気軽に話が出る場を設定しております。ペアレントトレーニングまでは至りませんが、先輩保護者の話を聞く機会を設けました。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	32	4	0	0	連絡帳もくわしく書いて下さり、わかりやすい。すごく細かく伝達して下さいと思う。連絡帳や口頭で出来ていると思う。	連絡帳でお知らせしたり、また電話をかけ合い情報を共有し理解に努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	4	0	0	懇談会はあるが、もう少し面談や電話等で相談したい。定期的にはわかりませんが、何かあり相談させてもらおうと「こころしましよ!」など案を出して一緒に進めて下さる。ちょっとしたことで助言してもらえて救われている。	個別療育の後に保護者の方とフィードバックする時間をいただいております。その時に園での様子、家庭での様子を話しております。相談など、送迎時や連絡帳などでお伝えいただき、話し合う時間をとっていきよう努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	2	0	1	悩んでいることを聞いてくれたり、それに対して助言してくれたりするので助かっている。	保護者の方に寄り添いながら、職員全員で共有した上で、こどもたちへの支援を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	9	1	11	きょうだい向けのイベントがいつされているかわからない。保護者の集いの時に交流(話を聞く)機会があったくらい。兄弟同士の交流はないがなくても良いと思う。	きょうだい向けの支援は行っていませんが、面談を通して相談されたことは個別に対応しております。茶話会などの集まりは今後定期的に行っていけるよう努めてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	3	0	4	こどもの気になることを相談した時、親身に対応して下さい助かった。何度も電話で状況を確認してくれ、対策案等も出してくれる。相談に対してすぐ返事をしてくれるのでありがたい。連絡帳で相談事を書いていると先生から電話でアドバイスがくる。大きく見ればあるかもしれないが、個別に何かあったことはないのよくわからない。	各相談に関しては、即対応を心がけております。対応時にお答えが難しいような内容に関しては、職場内の多職種間で話し合い適切に対応できるよう努めています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	3	0	1	個人で相談出来る場や、機会が欲しいです。細かいことも電話やノートで伝えてくれる。よく話を聞いてくれるので助かっている。	連絡帳や電話での対応が多いですが、メールで行うときもあります。個別で対面での相談も要望や内容に応じて行ってありますが、今後ご希望等に応じて増やしていけるよう努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	4	0	3	お便りでこどもの様子を分かりやすく、写真等で教えていただいているのを見るのが楽しみ。	自己評価の公表はホームページでさせていただいております。のぞみだより、法人広報は紙面で配布、法人ホームページに掲載しております。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	0	0	0	安心している。	十分に留意しております。	
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	8	0	4	ノートに「〇〇しました」と書いてあるので把握している。	各種マニュアルを策定している安全計画の周知を行っています。	

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	1	0	6	行われている。訓練のあった日には連絡帳で教えてもらっている。	避難訓練は毎月しており、火事・地震・不審者・水害等を想定した訓練を行っています。今年は送迎車を使い、二次避難も行いました。また、土砂災害、水害に関する避難確保計画を策定しており、それらに対する避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	34	1	0	1	そう思う。何か起これば対策を考えて下さると思うが、防げなかったのかと思うことが起こっていることもある。	防ぎきれなかったことは大変申し訳なく思っています。その都度、ヒヤリハット報告やインシデント報告、事後報告などで検証し再度起こらないように努めております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	32	1	0	3	小さな怪我でも、何をしていたらどうなったかなど細かく説明してくれる。親が気付いていない傷等もよく見て下さっている。すぐに電話をくれて、病院への付き添いもしてもらった。	子どもの安全を第一に考え、怪我や病気の際には迅速に対応しております。また状態によっては保護者と病院に行くこともあります。発生からの説明は事細かに連携をとっています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	36	0	0	0	月のおたよりの写真を見ていると楽しんでいる様子がわかる。のぞみの先生が大好きで子どもにとって大切な居場所である。先生や友達のことをよく話してくれる。安心できる居場所になっているのでとても嬉しい。	子どもたちが安心して楽しみに通えることを第一に考えております。そのためにも、保護者様には小さな気付きや心配なことなどございましたら教えていただければと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33	2	0	1	親が休みで、休んでもいいよと言ってものぞみに行きたいというので、いつも楽しそう。毎日行きたいと言って楽しみにしている。いき渋りが入園してから1日もなく楽しみにしている証拠だと思える。まだ朝バスに乗るときに涙が出ることもあるが、帰りはニコニコで帰ってくる。とても楽しそう。休みの日も朝から行きたいと言う。	ありがとうございます。子どもたちの「楽しい！」や「できた！」という達成感を日々感じられるよう活動内容や支援方法を話し合い、職員一同頑張っております。今後も子どもたちが楽しく通える場であるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	1	0	0	どの先生も親切で、子どもを安心して通わせることが出来る。とても満足している。転園も経験し、本当に今の環境には満足だし、感謝もしている。のぞみのおかげで、不安だった「成長」の面も軽減され、日に日に成長してくれている。普段から悩みや相談に乗って下さり、細かく連絡帳を書いて下さるので安心です。	子どもたちが楽しく通い、保護者が安心して子育てができるような支援ができるよう職員一同日々頑張っております。これからもご意見をいただきながら、成長して参りたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こども発達支援センター のぞみ (児童発達支援)				公表日	2026年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		十分なスペースを確保しています。	安全に運営を行います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		定員30名を5クラス編成にしています。職員はクラスに3, 4名を配備しています。個別に1対1が必要なこどもが多い日は、各クラスと協力しながら行っています。	状況によっては職員が少ないと感じる時があるので協力していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	個々の発達に合わせ、安全に過ごしやすい環境に配慮していきます。	スロープはありますが、屋根がなく天候によっては使用できないこともあります。建物の構造上、完全なバリアフリーや迅速な情報伝達の整備には時間がかかりますが取り組んでいきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の清掃、消毒を行い環境を整えています。遊戯室とプレイルームでは遊具の配置を工夫し身体をしっかりと動かせるようにしています。使い方についてはクラス間で話し合い順番に利用しています。	室内遊具や外遊びなど毎日のクラスも活動できるよう時間を配分しておりますが、曜日によっては利用配分がうまく出来ない時があるのでもっと工夫が必要と考えます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	発達検査や個別相談、クールダウンが必要な時など、状況に合わせて部屋を換えて対応しています。	こどものその時の状況等によって、どのような環境が必要であるのかが異なりますが、様々な状況に対応できるよう環境整備を考えてまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	会議で全員がクラスの事を共有し 振り返りを行っています。その場にはいない職員は会議の連絡ノートで確認するなど漏れないようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎年アンケートで貴重な意見をいただき改善に努めています。	今後も様々なご意見をいただきながらより良いサービスの提供に努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		どの職員から挙がった意見も大事にし、業務の改善に繋がるよう話し合うよう努めています。	少しずつ改善できるように効率を上げていく工夫をしていきたいと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	発達支援センターの外部評価は今年度より行うこととしています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	研修は出来るだけ受けけるようにしています。年間計画を立て、職員のスキルアップにつなげています。内部研修・外部研修共に職員が全員で共有できる研修内容を報告する時間(会議内)を設けています。	内部研修等はありませんが、それを現場で生かし振り返り変更調整をしていくことまでに行きつかない現状もあります。余裕をもって業務に取り組みよう工夫してまいります。また、研修などで職員が抜けにくい状況があります。配置の工夫などして行きたいと思います。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムは、法人のホームページに公表しております。	社会から求められるニーズ等に合わせて、必要に応じて随時変更し、公表していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		担任だけでなく、その他の専門の職員と話し合える環境づくりに努めています。こどもの変化に応じてやモニタリングの機会に話し合っって再評価しこどもに応じた支援計画の作成に努めています。	今後もこどもの状況に応じてアセスメントを行い、適切な支援に繋げていきたいと思います。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員全員が共通理解して、多職種の職員が連携しチームで考えています。職員会議で全員の周知を徹底しています。	

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		モニタリング会議において振り返りやアセスメント、支援計画の内容を子どもに関わる職員間で共有するようにしています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		標準化されたアセスメントは必要に応じて、または教育相談前などに行っています。インフォーマルなアセスメントは多職種で話し合い行っています。	フォーマルなアセスメントをとれる職員に限られているので、今後増やしていくことが課題です。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		本人支援・家族支援等、それぞれの子どもに必要な支援内容を設定しています。また、家庭や子どもに関わる関係機関と必要に応じて連携をとり、子どもが生活する様々な場所での支援を視野に入れていきます。支援内容の設定に関しては、その都度ニーズが変わることもあるので、支援を柔軟に行えるような内容で設定しています。	保護者や子どもに関わる人に分かりやすい支援計画になるよう、今後その都度検討していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		全体での話し合い、各クラスでの話し合いでチームで立案しています。	多職種がいることを生かし、色々な視点で活動を考えていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		昨年のことは参考にしていますが、一人一人子どもに合わせ楽しめる内容のものを工夫しています。また、他クラスの活動を調整して取り入れるなど、連携をとっています。	今後も子どもの姿に合った、適した活動を組み立てていきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別とグループ活動の両方の観点から子どもの支援計画を作成し、支援を行っています。	今後も子どものニーズに合わせて集団と個別を適切に用いた支援について考えてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		夕方の会議や朝礼等の時間で情報の共有を図っています。参加していない職員も出勤時に朝礼の内容を確認するようにしています。送迎に出る職員も偏らないように交代して工夫しています。	色々な想定をを考えていきます。状況を想定して丁寧な打ち合わせをしていきたいと思っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		子どもの様子を話し情報の共有をしています。次の療育につながるような話し合いを心がけています。	次の活動に繋がるよう、振り返りは今後もしっかり行っていききたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の記録は、その日の療育終了後に必ず記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを行っています。また、複数名でモニタリングを行うことで、いろいろな視点で子どもの評価を行うことができていると感じます。	
適切な支援の提供	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		その子の様子が一番よくわかる職員が参加しています。相談支援事業所とも関係が密になり、やり取りも多くなりました。	今後も必要に応じて、他機関と情報を共有し、必要な支援の方向性を考えていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	管理者を始め、担当職員が連携をとっています。	今後も必要に応じて、他機関と情報を共有し、必要な支援体制を整えていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		必要に応じて連携を行っています。直接連絡を受けることもあれば、保護者や相談支援事業所を通じて状況を知り、連携をとることもあります。連携の際にはインクルージョンの視点を大切にしています。	今後も互いの立場を尊重しながら、子どもたちが生活しやすい地域づくりに貢献していきたいと思っています。

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		就学時は密な連携をとっています。一人一人の連携の時間を確保し、スムーズな小学校生活がおくれるよう努めています。学校生活が始まる前と開始した後も連携をとっています。	今後も必要に応じた連携を行っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	6		市内の他の事業所からの研修や相談などを随時受けています。また、自立支援協議会で横のつながりを大切に、三原市全体の療育向上に努めています。自立支援協議会(児童支援部会)の部会長を担っておりセンターとして、三原市全体のことも考えています。	今後も三原市のこどもに関わる関係機関との連携を図っていきます。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	1	外部研修には参加し、質の向上を図っています。広島県東部幼児通園療育機関協議会などの研修に参加したり、県立広島大学と連携し、アドバイスを受けています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6		自立支援協議会(児童支援部会)では部会長を務めています。今年度は、市内のこどもの支援を取り巻く課題について話し合いを行い、具体的な対応について意見を出し合いました。	今後、支援の仕組みの形になっていくよう努めていきます。
	31	(31は、事業所のみ回答)	6			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		法人内のこども園が近くにあり、仲良し会(交流会)を行っています。楽しく会を開くことが出来ています。	こども園との交流をニーズに合わせて増やしていくことを検討していきたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳を通じて日々の様子を伝えており、電話やメールも利用し日々の連絡は密にしています。発達の喜びも分かち合えていると思います。	できる限り、面談や細かなやりとりを行っていき、共通理解を図ってきたいと思います。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		先輩保護者の方に来ていただき話を聞く会や茶話会は開催しています。ペアレントトレーニングとしての会は行っていません。個別に面談をして対応しています。	来年度は茶話会など保護者同士のつながりを持つ機会を増やしていきたいと思います。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に伝えてあります。支援プログラムについては法人のホームページで公表しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		懇談や普段の家庭連携を行う中で、家での様子や保護者、本人の困り感を把握しアセスメントを行った上で、また保護者の意向も踏まえ、支援計画を作成しています。	今後も、こどもや家族がより安心して生活できるように支援を考えて参ります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		児童発達支援計画は丁寧に説明し、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		連絡帳や面談、電話連携を通して相談を受けた際には迅速な対応を心がけています。ケースについては職員間で話した後、連携機関に相談もしています。行政や医療機関等の専門機関との連携も行います。	今後も状況に適した対応出来るよう、他機関とも連携を図っていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	保護者会はありませんが、保護者が集まる場を設けるようにしています。今年度は2回実施しています。兄弟児の直接的な支援は行えていませんが、個別の相談には応じています。	兄弟同士の交流はできていません。保護者ニーズにお応えしながら、保護者同士が集まれる場を設けていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		迅速に対応しています。ケース会議が必要な時は、即座に開くよう努めています。	今後も関係機関にすぐ声掛け出来るように普段からの連携を密にしています。

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		のぞみだよりを書面で毎月配り、行事予定をお知らせしています。法人の広報誌も書面やホームページで広くご覧頂いています。	今後、デジタル化を進めることで、より見える化が進むと思われます。様々な方法を検討してまいりたいと思います。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取り扱いには十分配慮しております。他機関連携では個人情報を取り扱うこととなりますので、契約時に同意を交わした上で、その都度保護者の了承を得ながら連携をとるようにしています。また、おたよりなどの写真掲載にも同意を得ております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		その方に合わせた対応をしています。(電話、メール視覚的にわかりやすくする手紙など)。多国籍の保護者とのコミュニケーションの取り方の難しさを感じることもありますが、分かりやすい言葉を用いたり、個人の携帯の翻訳機能を使い、話すこともあります。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	今年度、同法人の子ども園と合同で、地域に開かれたマルシェを開催する予定です。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		安全計画の中で各種マニュアルを策定し、保護者にも周知しております。避難訓練は毎月実施しております。	訓練を実施していく中で、改善すべき点はその都度改善していきたいと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		自然災害BCP、感染症BCPなど各委員会を設置しており、定期的に委員会、研修、訓練を行っています。今年度は公用車を用いて二次避難を行いました。	今後も訓練をしていく中で、課題等を職員間で話し合い、災害に備えたいと思います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		てんかんや熱性けいれんなどのある子どもに関して、保護者から情報収集し対応マニュアルを策定しています。消防にも届出をしております。	今後も入園時は必ず、年度ごとに保護者と情報の確認を行っています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		対応児は必ず医師の指示書を提出して頂き、調理員を始め、職員全員がその日のメニューを朝礼で確認し周知しています。	新たなアレルギーが発生することがあるので、その都度指示書で確認をしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画の中で各種マニュアルを策定しています。気温が上がる頃や水遊びが始まる前、感染症が流行り出す前などには研修を随時行っています。また、普段の療育の中で危ない場面があった際には、ヒヤリハットやインシデントして挙げ、対策を全職員で共有するようにしています。	今後も安全対策は、全職員で行ってまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	安全計画については保護者周知しております。また、緊急時の対応についても周知しております。水害・台風の時期には今一度注意喚起を促すようにしています。	訓練をしていく中で、安全マニュアルや緊急時対応の修正点などが出てくると思われます。その都度修正し、周知していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット・インシデントの報告は即座に行い、職員間で周知し、設備の改善等即日に行うよう努めています。挙げた報告書の検討も定期的に行っています。	今後も再発防止に努めていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		国や県の研修を管理者が受け、全職員に周知しています。虐待防止委員会を定期的実施し、研修を行ったり、セルフチェックリストで振り返ったり、職員の言動等に自覚を持つように徹底しています。	今後も全職員で事例検討を行うなど、一人一人が意識をもって考えることが出来るよう研修の内容を考えていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		今年度対象児はいません。やむを得ない身体拘束については実施時には必ず充分な説明を行い支援計画に盛り込むこととしています。	